

# 衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

【第210回国会】令和4年11月15日（火）、第3回の委員会が開かれました。

## 1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

・高市国務大臣（知的財産戦略、科学技術政策及び宇宙政策担当）、後藤国務大臣、井上財務副大臣、井出文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）平将明君（自民）、日下正喜君（公明）、白石洋一君（立憲）、藤岡隆雄君（立憲）、伊東信久君（維新）、和田有一朗君（維新）、鈴木義弘君（国民）、宮本徹君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 平将明君（自民）

- (1) 大学ファンド・国際卓越研究大学制度における高市国務大臣の関わり及び目的達成に向けた意気込み
- (2) デュアルコース問題における日本学術会議の考え方及び大学等研究機関において円滑に研究が実施されるよう日本学術会議の改革を進める必要性
- (3) 社会課題を解決するインパクトスタートアップを含めSBI R制度の拡充を図る必要性
- (4) 通信の活用を含めた我が国のコンステレーション衛星の在り方

### 日下正喜君（公明）

- (1) 2050年のカーボンニュートラル実現を見据えた、人の移動や物流等の交通体系の在り方に関する高市国務大臣の見解
- (2) 地域における交通について
  - ア 新たな交通システム及び輸送システムの構築の現状及び未来像
  - イ 地域に適した交通体系の構築を図るための事業に対する国からの支援状況
  - ウ 「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」を活用した地域交通分野の支援事例
  - エ 地方創生における地域交通の発展の重要性
- (3) 自動車産業における内燃機関車の存続について
  - ア 「e-fuel」などの合成燃料の研究開発における現時点の進捗状況と今後の見通し
  - イ 災害時の対応や経済安全保障の観点から、合成燃料を用いる内燃機関車を存続させる重要性

### 白石洋一君（立憲）

- (1) 県立高校の統合再編について
  - ア 再編を検討する学校規模の考え方に遠隔授業による生徒も含めることについて文部科学省の見解
  - イ 1人の教員が複数校を順次回り対面と遠隔授業を行う教育方法について文部科学省の見解
  - ウ DXを用いた遠隔授業について好事例の共有や教員に対する支援を国が行う必要性
  - エ 文部科学省が統合再編の進め方についての指針を发出する必要性
  - オ 「中央教育審議会高等学校教育の在り方ワーキンググループ」で高校の統合再編を議題とする必要性
  - カ 高校で特色ある学科が創設されることに対する文部科学省の見解
- (2) 大学の研究に対する支援について
  - ア 国際卓越研究大学に関する基本方針における大学の自治の確保及び教学事項への介入防止の確認
  - イ 地方大学に対する政府の支援策
  - ウ 地方大学への支援に係る令和4年度第2次補正予算の額及び事業内容
  - エ 補正予算による支援、事業内容について地方大学へ周知する必要性

## 藤岡隆雄君（立憲）

- (1) 研究者の雇い止め問題について
  - ア 雇い止めに関する文部科学省による実態調査実施の検討結果
  - イ 記者会見等で実態調査を行っていることを周知する必要性
  - ウ 実態調査の公表結果の見通し
  - エ 補正予算あるいは来年度予算で措置するために実態調査のスケジュールを見直す必要性
  - オ 財政措置等に対応することについて高市国務大臣の見解
  - カ 実態調査後、対策を講ずる必要性について井出文部科学副大臣の認識
- (2) 大学ファンドについて
  - ア 国際卓越研究大学へ支援を開始する時期
  - イ 現在の運用実績に対する高市国務大臣及び井上財務副大臣の所感
  - ウ 「財政制度等審議会財政投融资分科会」での運用実績を踏まえた委員の意見
  - エ ファンドの運用に係る「投資委員会」と「運用リスク管理委員会」の委員が同一人物であることの確認及びその是正の必要性
  - オ 運用益が出なかった場合、支援開始を遅らせることについての高市国務大臣の認識
  - カ 運用状況により国際卓越研究大学認定後に支援が止まる可能性
  - キ 運用益が出なかった場合の対応を政府が事前に準備することについて高市国務大臣の見解

## 伊東信久君（維新）

- (1) がん治療のBNCT（ホウ素中性子補足療法）に対する国の取組み状況及び今後の方針
- (2) がんの標準治療の法令上の定義
- (3) がんの免疫治療に対する国の取組み状況及び今後の方針
- (4) NK細胞標的治療に対する国の取組み状況及び今後の方針
- (5) 先進医療の臨床データを集積して活用することについて国の検討状況
- (6) イン・シリコ・スクリーニングに対する高市国務大臣の認識
- (7) Webサイトの医療に関する情報に対する規制及び監視体制

## 和田有一朗君（維新）

- (1) 原子力政策について
  - ア 原子力政策に関する高市国務大臣の現状認識及び今後の方向性
  - イ 潜水艦の動力など幅広い分野への原子力の活用に関する高市国務大臣の見解
  - ウ 技術者等の人材の育成や確保についての方策
- (2) ロケット打上げについて
  - ア イブシロンロケット6号機の打上げ失敗の原因究明の状況
  - イ 我が国のロケット打上げ成功率の海外との比較
  - ウ 失敗を恐れないロケット開発及び民間事業者とのすみ分けについての高市国務大臣の見解

## 鈴木義弘君（国民）

- (1) 大型研究費の助成について
  - ア 若者研究者だけでなく中堅やベテラン研究者への支援の必要性
  - イ 1次審査を匿名にし、2次審査で経歴などを面談で審査する審査方法の是非
- (2) 理工系大学において講座制を解消している大学を優先的に支援する必要性

- (3) 単に予算を増額するだけでなく、自らのアイデアを発案することを躊躇する若手研究者の意識を変えなければならないという意見に対する高市国務大臣の見解
- (4) これまでの科学技術政策を検証する必要性についての高市国務大臣の見解

**宮本徹君（共産）**

研究者の雇い止め問題について

- ア 理化学研究所において令和5年3月末で通算雇用期間が10年になる研究者のうち、研究代表者・分担者となっている者の人数及び当該研究の受託額
- イ 継続している研究プロジェクトの代表者が雇い止めされることがプロジェクトに大きな影響を与える可能性
- ウ 理化学研究所に対して雇い止めの方針を見直すよう指導する必要性についての高市国務大臣の見解
- エ 理化学研究所が有期雇用研究員の契約更新上限を契約途中から設定し、通算雇用期間を遡及していることの適法性についての文部科学省の見解
- オ 我が国の若手研究者の流動性をこれ以上高める必要はないとの意見に対する高市国務大臣の見解
- カ 高度専門教育を受けた研究者が50歳になっても4割が有期雇用であることの異常性についての高市国務大臣の見解
- キ 研究者の無期雇用への転換のための財源確保の必要性